

特定非営利活動法人  
新潟国際ボランティアセンター



---

## 2013年度通常総会議案書

---

日時： 2013年5月18日(土)13:00～14:30

会場： 新潟市市民活動支援センター

**特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター**

(連絡先) 新潟市中央区西堀前通6番町894番地1  
西堀6番館ビル3F 新潟市市民活動支援センター  
tel & fax 025-378-5374  
URL: <http://www.nvcjapan.org/>  
E-mail: [info@nvcjapan.org](mailto:info@nvcjapan.org)

2013年度 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター  
通常総会

- 次 第 -

1 開会

2 議長・議事録署名人・書記の選出

3 総会成立の確認

4 議案審議

第1号議案 2012年度事業報告について

第2号議案 2012年度収支決算・監査報告について

第3号議案 2013年度事業計画について

第4号議案 2013年度活動予算について

第5号議案 役員の選任について

第6号議案 会員制度の見直し及び「賛助会員」の新設について

5 閉会

---

14:30～15:00 2013年度第2回運営委員会

15:00～17:00 第65回 地球を知る講座

講演会 講師：地球市民 ACT かながわ 伊吾田事務局長

「半径3mからの国際協力～アジアにおける保健衛生・教育問題の実態とは～」

18:00～ 懇親会

# NVCは25周年？

代表運営委員 金子洋二

近頃、NVC関係者の中で「25周年」という言葉が飛び交っています。私自身、初めて触れた市民活動がNVCですので、その言葉を聞くたびに「もう四半世紀も経ったのか」という思いがじんわりと溢れます。

しかし、「25周年」とは何を起点にしての話なのかとなると、これがなかなかはっきりしません。この問いに即座に応えられる方は、相当なNVC通だと思えます。

「25」という数字が飛び交う理由のひとつは、今年度開催する「愛のかけ橋バザー」が25回目になるからです。初めて開いたバザーが1989年11月ですから、そこから数えると今年中に「25年目」に突入することになります。

また、現在日本国際ボランティアセンター(JVC)の代表をされている谷山博さんが、「ラオス駐在代表」として初めて新潟で講演をされたのも1989年のことでした(そしてその講演がNVC発足のきっかけとなりました)。最近では2010年の年末に、少し元気をなくしていたNVCを再生するべく、まるで救世主の様に谷山さんが新潟に来てくださり、二日間かけてワークショップをしてくださったことは記憶に新しいところです。そんなことから、過去と現在を結ぶ時間の流れをしみじみと感じます。

NVCが正式に団体として発足したのは1990年です。2015年の3月で、ちょうど25歳になります。普通「周年」のお祝いとなると、周年を迎えたその年に行うものですが、せっかくNVCの活動の原点であるバザーが今年「25回目」を迎えるわけですから、いっそのこと3年かけて「25周年」を祝ってしまおう！と考えることに致しました。何と云っても四半世紀ですから、そのくらいもり上げても罰は当たらないでしょう。(笑)

その記念すべき25周年に合わせて、NVCの「中期ビジョン」がまとまりました。ここには、団体発足30周年(2020年)に向けた中期的な方向性と目標が書かれています。長い議論の甲斐あって、大変夢のあるわくわくするようなものが出来上がりました。多くの皆様と共有し、気持ちをひとつにして歩んでいきたいと思えます。

今年度も、NVCをよろしく願います！

## 2012年度事業報告

---

### 1 ラオス支援事業

#### (1) 事業の概要

大型開発が進むサワナケート県のピン郡ならびにアサボン郡の農村部において、森林保全、自然資源管理、生態系農業の普及を通じ、将来にわたり 村人が森を利用する権利を持ち続けられ生業である農業の改善を通して村人が安定した暮らしを送れることを目的とし、

- A 参加型土地利用計画 (PLUP、)
- B 地域ドラマワークショップ、
- C 自然資源管理、
- D 法律研修、
- E 生態系農業技術研修、
- F 米銀行、
- G 家畜銀行、
- H 井戸                    といった活動を実施した。

#### (2) 実施期間

2012年4月1日～2013年3月31日

#### (3) 実施場所

ラオス・サワナケート県2郡(アサボン郡、ピン郡)

#### (4) 担当者

JVC ラオス事務所 11名 / 東京事務所 1名    NVC ラオス事業担当 稲垣・羽田

#### (5) 受益者の範囲

約20村 1600世帯 10,000人

#### (6) 支出額 100,000円(当会からの協力金として)

### 2 ベトナム奨学金事業

#### (1) 事業の概要

本事業は、NVCおよび他の団体・個人の資金拠出による計3件の奨学金について一括してNVCが窓口となり、各奨学金の趣旨に従って、ホーチミン市学生支援センター(SAC)の協力により、経済的困窮度の高い大学生に対して1人年額1万円を支給するものである。2012年度の支給人数および内訳は別表のとおりである。

なお、卒業年度までの支給は2011年度の新規分までとし、2012年度の新規分からは入学後2年間のみの支給に変更することが、2011年9月にNVC代表とSACとの協議で決定している。

(2) 実施日または期間 通年

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者及びスタッフの数

NVC担当者：櫛谷圭司、皆川真理恵

現地スタッフ：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 55人

(6) 支出予算額 550,000円(奨学金特別会計より)

#### 【別表】

	継続	新規	計
NVC奨学金	14	22	41
河合・志田奨学金	5		
稲宮奨学金	8	2	10
大学女性協会新潟支部奨学金	3	1	4
合計	30	25	55

### 3 ベトナム障がい児支援事業

#### (1) 事業の概要

本事業はキークワン寺及びマダグイ子どもセンターで生活する盲目、肢体不自由、知的障がいなどの障がいを持つ子どもや青年を支援することにより、それぞれの施設の自立を助け、ベトナム社会への発展に寄与することを目的としている。2011年度まで行っていたキークワン寺センター1及びセンター2の支援事業は終了し、2012年度はキークワン寺センター1への継続支援と、新たにマダグイ子どもセンターへの支援を開始した。

2012年12月に担当運営委員が現地を視察した。キークワン寺センター1では現地スタッフのリンさんがニーズを聞き物資を購入しており、NVCの支援が有効に活用されていることを確認した。またマダグイ子どもセンターでは購入したパンを確認、フォスターマザーのキューさんからパンの購入により子どもたちを学校や病院に送迎するのに大変役立っているとの話があった。

#### (2) 実施日または期間

キークワン寺センター 1 : 2012 年 4 月 ~ 2013 年 3 月

マダグイ子供センター : 2012 年 4 月 ~ 2013 年 3 月

( 3 ) 実施場所

ベトナムホーチミン市キークワン寺センター 1

ベトナムラムドン省マダグイ子供センター

( 4 ) 担当者 担当者 : 小林伸子

現地スタッフ : Thu Linh

( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数

キークワン寺 : 約 120 名

マダグイ子供センター : 45 名 (半数が障がい児)

( 6 ) 支出額 500,000 円

内訳

キークワン寺 : 170,000 円 フロア洗剤、洗濯洗剤、歯ブラシなどの生活用雑貨、肉入りヌードルなどの Special Food など、要望に応じて物資の支援を行った

マダグイ子供センター : 330,000 円 子どもたちの送迎のためのバン購入費用

## 4 ベトナム交流事業

( 1 ) 事業の概要

新潟大学ベトナムプロジェクトでは、ベトナム・ホーチミン市にある女子専用孤児院 M A B C (マイ・アム・パー・チウ) を訪問し、私たち日本人との国際交流を通して、子どもたちへ精神的な支援を行うことを目的に活動を行っている。また参加する学生も、子どもたちとの交流を通して、「学生だからこそ」「ベトナムだからこそ」出来る貴重な経験を得られる。これまで 2006 ~ 2012 年に亘って 7 回現地に渡航している。

( 2 ) 実施日 2013 年 2 月 23、24 日

( 3 ) 実施場所 1 日目 M A B C 施設内

2 日目 ホーチミン市内にあるダムセン公園・プール

( 4 ) 参加者

新潟大学ベトナムプロジェクトメンバー

朝日駿、菊地雛、大山和奈、小山瑞季、齋藤愛美、松沢春菜、諸橋まどか、

グエン・スアンソン 計 8 名 (内 1 名ベトナム人留学生)

現地参加者数 約 40 名 (M A B C の子どもたちや元利用者など)

( 5 ) 支出額 0 円

旅費は自己負担、必要経費は別途調達した。

## 5 愛のかけ橋バザー

### (1) 事業の概要

当会が行うベトナム障がい児支援、生活困窮大学生への奨学金、ラオス農村開発支援の諸費用を調達すると共に、会員・ボランティア間の交流を促進することを目的に開催した。

寄付品の販売を中心に、カフェコーナー、地球を知る講座の開催、震災復興支援として昨年引き続き福島県の観光物産販売コーナーを設けた。また、昨年度は初めてグリーンカレー及びベトナム揚げ春巻きを販売する飲食ブースも展開し、会場内を盛り上げた。

### (2) バザー収益および来場者数

収益	735,761円
内訳	
売上金	418,031円
寄付金	301,000円
募金	16,730円
入場者数	919名(10日:448名・11日:471名)

(3) 実施日 2012年11月10日(土)10時~17時、11日(日)10時~17時

(4) 会場 ピア万代 にぎわいマルシェ

(5) スタッフ 担当:高山美結、三上杏里 ボランティア延人数:83名

(6) 支出額 96,540円

## 6 地球を知る講座

### (1) 事業の概要

新潟県在住の若者を含む広い年代に、国際問題・貧困問題・社会問題などの地球規模の課題/グローバルイシューを発信し、新潟県内における国際問題理解・啓発を行うことにより、新潟という地域と世界とがつながり、共に生きることのできる社会作りを目指し、地域社会における国際理解、人材育成、コミュニティ作りに寄与する。また、国際協力を「富めるものから貧しいものへ」支援するという視点ではなく、新潟と世界が互いに学び合い育ちあうことのできるような環境作りを目指す。

### (2) 実施日または期間

- ・2012年4月29日 映画上映会及びワークショップ(ダーウィンの悪夢)
- ・2012年5月19日 ワークショップ(援助する前に考えよう)
- ・2012年7月21日 勉強会及びワークショップ(乳幼児死亡率を下げるには?)
- ・2012年8月25日 勉強会及びワークショップ(HIV/AIDSから見えてくる世界の諸問題)
- ・2012年11月11日 ワークショップ(フード・マイレージ どこからくる?私たちの食べ物)
- ・2012年12月8日 講演会及びワークショップ(バングラデシュの医療の現状)
- ・2013年1月19日 講演会及びワークショップ(今、注目のラオスとは?)
- ・2013年2月17日 映画上映会及びワークショップ(Because I am a Girl)
- ・2013年3月10日 講演会及びワークショップ(企業、NPO、NGO これからの未来は)

( 3 ) 実施場所 新潟市市民活動支援センター ( 第 1 ~ 4,6,7 回 )、ピア Bandai ( 第 5 回 )、Cafe CopoCopo ( 第 8 回 )、新潟大学駅南キャンパスときめいと ( 第 9 回 )

( 4 ) 担当者及びスタッフの数 :

羽田達矢、高山美結、小出直未、皆川真理恵、武田彩美 他主催者延べ人数 28 人

( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数 : 日本人 100 人 (主催者込み)

( 6 ) 支出額

支出合計 181,414 円 (助成金対象 137,204 円 助成金対象外 44,210 円)

## 7 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

( 1 ) 事業の概要

新潟県内の大学や専門学校に在学し、新潟市に在住している「留学」の資格を持つ、一定以上の収入のない私費留学生に対し、1 人につき年間 5 千円ずつの国民健康保険料の助成を行う事業。

1 年以上滞在する外国人は公的健康保険に加入しなくてはならず、多くの場合が国民健康保険に加入することになるが、経済的な負担となっているケースもある。そのため、経費の一部を助成することで、安心して医療を受けてもらおうという趣旨で、平成 7 年度から (公財)新潟市国際交流協会との共同事業として実施。(2010 年度助成までは、支払済額の半額を助成していたもの。)

( 2 ) 実施期間 通年 (保険料の助成金支払いは年度終了後)

( 3 ) 実施場所 新潟市内

( 4 ) 担当者 三上 杏里

( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数、

助成件数 : 131 件 【参考】新潟市内の大学に通う私費留学生 : 645 人 (2012.11 月現在)

( 6 ) 支出額 100,000 円

## 8 その他の運営に関する事項

( 1 ) 機関紙発行 「かけ橋」39号(2012年8月31日)40号(2013年1月20日)

( 2 ) 運営委員会 毎月第 3 土曜日、新潟市市民活動支援センターにて開催

11 月はバザー終了直後だったため、お休みしました。

( 3 ) 外部イベントへの出展



(4) 現地調査

ベトナム障がい児支援事業

2012年12月2～4日の日程で、事業担当者である小林運営委員が支援先のキークワン寺及びマダグイこどもセンターを訪問し、現地調査を行った。

ベトナム奨学金事業

2012年12月20日にベトナム・ホーチミン市学生支援センター(SAC)の主催によるNVC奨学金の授与式が市中心部のホールで開催され、事業担当者である櫛谷副代表兼運営委員が参加し、新入生に対し証書の授与及びSAC及び学生達と意見交換を行った。

(上記2調査における支出額 100,000円)

(5) 2012年度 役員体制

運営委員	金子 洋二(代表) 三上 杏里(事務局長、副代表) 櫛谷 圭司(副代表) 加藤 健太(副代表) 稲垣伴憲、小出直未、北村 泰、小林伸子、佐々木寛、袖山由美子、高橋正樹、高山美結、武田彩美、羽田達矢、前谷明日香、山賀緩子、若月 章、渡邊恭平
監事	原 敏明、阿部美恵子
アドバイザー	篠田 昭、西村智奈美、山際 敦、山田太郎、前野春樹、面川雅博

(6) その他

カレンダーの販売部数・・・1500円×100部

奨学金寄付者・・・大学女性協会新潟支部 40,000円

加入している団体

日本国際ボランティアセンター

新潟県国際交流協会

新潟NPO協会

にいがたNGOネットワーク

助成金 新潟県国際化推進活動助成金(地球を知る講座) 入金は2013年度

新パンフレット作成 作成費 80,000円

収入				
項 目	2012予算額	2012決算額	差異	備考
前年度からの繰越金	2,301,176	2,301,176	0	
会費	800,000	733,000	67,000	会員減による
会費(個人)	600,000	552,000	48,000	12,000円X46名
会費(学生)	10,000	6,000	4,000	1,000円X6名
会費(家族)	60,000	60,000	0	20,000円X3家族
会費(団体)	30,000	43,000	13,000	10,000円X4団体+学生団体
会費(過年度)	100,000	48,000	52,000	12,000円X4名
会費(翌年度)	0	24,000	24,000	12,000円X2名
自主事業(国内)	250,000	537,931	287,931	
バザー	200,000	337,031	137,031	
イベント	28,000	30,500	2,500	
書籍・カレンダー	17,000	150,000	133,000	1,500円X100部
地球を知る講座	5,000	20,400	15,400	実施回数増
寄付金	45,000	369,800	324,800	
募金	6,800	6,730	70	
助成金	117,000	117,000	0	
預金利息	24	349	325	
計	<b>3,520,000</b>	<b>4,065,986</b>	545,986	

## 支出(事業費)

項 目	2012予算額	2012決算額	差異	備考
自主事業(海外)	650,000	650,000	0	
ベトナム障がい児支援事業	500,000	500,000	0	キークワン・マダグイ支援
現地代表手当	50,000	50,000	0	リン会員
現地調査費	100,000	100,000	0	櫛谷・小林会員
自主事業(国内)	250,000	437,853	187,853	
バザー	0	122,489	122,489	飲食関係レンタル代金等
書籍・カレンダー	0	133,820	133,820	カレンダー制作、印刷費等
地球を知る講座	250,000	181,544	68,456	会場費、資料印刷代等
他との協働事業	200,000	200,000	0	
ラオス(JVC)	100,000	100,000	0	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	100,000	100,000	0	新潟市国際交流協会へ
他団体登録費	38,000	26,630	11,370	JVC、新潟NGOネットワーク等
緊急支援	0	0	0	
事業実施諸費	30,000	37,260	7,260	交通費、送金手数料等
計	<b>1,168,000</b>	<b>1,351,743</b>	<b>183,743</b>	

## 支出(事務局費)

項 目	2012予算額(案)	2012現状	差異	備考
印刷	20,000	104,910	84,910	パンフレットリニューアル
通信費	50,000	47,011	2,989	電話・メール便
文具	20,000	2,100	17,900	インク
事務所費	60,000	700	59,300	事務所費無
計	<b>150,000</b>	<b>154,721</b>	4,721	

## 支出(計)

項 目	2012予算額(案)	2012現状	差異	備考
事業費	1,168,000	1,351,743	183,743	
事務局費	150,000	154,721	4,721	
計	<b>1,318,000</b>	<b>1,506,464</b>	188,464	

収入 - 支出(翌年度への繰越額)	2,202,000	2,559,522	357,522	
-------------------	-----------	-----------	---------	--

## 2012 年度 奨学金特別会計活動計算書

2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日

### 収入

項 目	2012 予算額	2012 決算額	差異
前年度からの繰越金	37,550	37,550	0
基金拠出金(内訳下記参照)	520,000	510,000	10,000
受託金(連合奨学金)	0	0	0
受託金(大学婦人協会)	30,000	40,000	10,000
利息諸収入(利息)	0	2,806	2,806
計	<b>587,550</b>	<b>590,356</b>	<b>2,806</b>

### 支出

項 目	2012 予算額	2012 決算額	差異
基金拠出分(内訳下記参照)	520,000	510,000	10,000
奨学金(連合)	0	0	0
奨学金(大学女性協会)	30,000	40,000	10,000
諸費(送金手数料等)	0	840	840
計	<b>550,000</b>	<b>550,840</b>	<b>840</b>

収入 - 支出(翌年度への繰越金)	37,550	39,516	1,966
-------------------	--------	--------	-------

### 基金の状況

項 目	2012 年度当初額	拠出金	2012 年度末額
NVC 奨学基金	3,665,659	410,000	3,255,659
稲宮奨学基金	360,000	100,000	260,000
計	4,025,659	510,000	3,515,659

# 2012年度会計 貸借対照表

2013年3月31日現在

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	56,874		
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,595,509		
定期預金(第四銀行 本店)	4,378,814		
振替口座(ゆうちょ銀行)	83,500		
流動資産合計		6,114,697	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			6,114,697
負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>正味財産</b>			<b>6,114,697</b>

## 2012年度会計 財産目録

2013年3月31日現在

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	56,874		
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,595,509		
定期預金(第四銀行 本店)	4,378,814		
振替口座(ゆうちょ銀行)	83,500		
流動資産合計		6,114,697	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			6,114,697
負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>正味財産</b>			<b>6,114,697</b>

## 会計監査報告

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の収支決算について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2013年4月20日

監査委員

原 泰城 

阿部 美恵子 

## 【4月20日における原監事及び阿部監事からのアドバイス（要旨）】

- ・スタディツアー再開に当たっては、ぜひ参加者に感動を与えるツアーにして欲しい
- ・団体会員費が一般の正会員費よりも低額であるので、見直しをした方がよい
- ・ベトナムの奨学生やMABC（マイ・アム・バー・チュウ）の卒業生を日本に招待して講演及び交流会を行うなど日本と海外をつなげる活動を展開してもらいたい。その際には、新潟在住のベトナム人留学生などに通訳をお願いすると、留学生とのつながりもできるので、検討してもらいたい。
- ・バザーの商品が集まりにくくなっているため、従来のようなギフト品の寄付を募集するだけでなく、他の企画を考える必要がある。数年前、学生が自分の手作りの作品を販売するという企画があった。参考にしてもらえればと思う。
- ・マスコミがNVCの活動を記事にしてくれた際には、それを記録し、総会などで報告していただきたい。

## 2013年度事業計画（案）

---

### 2013年度事業実施の方針および今後5年間を見据えた中期ビジョン

新潟国際ボランティアセンター（NVC）が活動を開始したのは1989年。日本国際ボランティアセンター（JVC）で活動する谷山博史さんを応援したい、という思いから発生したものでした。そして翌1990年3月に行われた設立総会を経て、組織として動き始めました。

あれから25年弱。

NVCは多くの活動を展開してきました。ベトナムにおいては約20の小学校やストリートチルドレンのためのオープンハウスを建設し、洪水などの自然災害が発生した際には緊急支援を実施しました。今でも貧しい大学生を支援する奨学金事業や障がい児施設の運営支援事業を継続しています。

NVCの活動地域はベトナムだけではありません。バングラデシュにおいては深井戸建設や教育支援事業、マダガスカルでは植林事業、旧ユーゴスラビアでは難民支援など多くの国際協力事業を展開してきました。

新潟県内での活動も活発に行ってきました。愛のかけ橋バザーを計24回実施したのをはじめ、そのほかにも70回を超える地球を知る講座の開催、新潟市在住の留学生に対する国民健康保険支援事業など、枚挙にいとまがありません。

そして忘れてはならないのは、NVCの活動に参加してくださった人たちです。特に愛のかけ橋バザーでは、毎年100人ほどのボランティアの方々が熱い思いを胸に集まってくれました。バザーの成功はこういった皆さんの思いが一つになったものであることもありません。

しかし、このような歴史あるNVCも、時代の変化に対応して組織として変革しなくてはならない時期を迎えています。そこで、2013年を初年度とする5カ年の中期ビジョンを策定いたしました。2013年度に実施する事業は、この中期ビジョンに向けて現状を確認し、そして5カ年計画を定めることを目指して実施していきます。私たちが現在抱えている課題を確認し、解決に向かって行動することによって、組織力を高めると同時により一層充実した国際協力事業を展開し、さらに魅力あるNVCに成長していきましょう。

#### **中期ビジョン3つの方針**

1. 世界の現状をより深く知るとともに、それを国内に広く発信することを目指して、学ぶ機会を拡大します
2. 既存事業の内容を確認するとともに、新規事業について検討し、将来を見据えた事業体系に整備します
3. 会員、支援者、及びコアスタッフの体制を整え、組織の基盤を強化します





## 【各事業の実施計画】

### 1 ラオス支援事業

#### (1) 事業の概要

村人の食料安全保障能力を高めるという観点から、森林保全や自然資源管理により食料確保、持続可能な農業による食料生産向上、凶作などのリスクに備えた農村開発活動を行い、村人が栄養に富んだ多様な食料を確保できるようになることを目的として、

- A 参加型土地利用計画、
- B 地域ドラマワークショップ、
- C 自然資源管理、
- D 法律研修、
- E 生態系農業技術研修、
- F 米銀行、
- G 家畜銀行、
- H 井戸、
- I ラタン栽培といった活動を予定している。

(2) 実施期間 2013年4月1日～2014年3月31日

(3) 実施場所 ラオス・サワナケート県2郡(アサボン郡、ピン郡)

(4) 受益者の範囲 約23村1800世帯11,000人

(5) 担当者 JVC ラオス事務所13名/東京事務所1名 NVC ラオス事業担当 稲垣・羽田

(6) 予算額 100,000円

### 2 ベトナム奨学金事業

#### (1) 事業の概要

NVCおよび他の団体・個人の資金拠出による計3件の奨学金について、一括してNVCが窓口となり、各奨学金の趣旨に従って、ホーチミン市学生支援センター(SAC)の協力により、経済的困窮度の高い大学生に対して1人年額1万円を支給する事業である。2011年度までは受給学生が卒業するまで支給を継続していたが、2012年度の新規分から支給を入学後2年間とする一方、新規の支給者数を増やしている。そのため2013年度は、前の制度による3年生以上と、昨年度から支給されている2年生、および今年度から支給する1年生が重なり、総額がかなり膨らんでいる。この状況は今後、前制度による支給者が順次卒業していくため、徐々に解消する見込みである。

2013年度の支給予定人数の内訳は別表のとおり。

(2) 実施日/期間 通年

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数 NVC担当者：櫛谷圭司

現地スタッフ：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数 ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 74人

( 6 ) 支出予算額 740,000 円 ( 奨学金特別会計より )

【別表】

	継続 ( 3 年生以上 )	継続 ( 2 年生 )	新規 ( 1 年生 )	計
NVC 奨学金/河合・志田奨学金	15	22	23	60
稲宮奨学金	6	2	2	10
大学女性協会新潟支部奨学金	3	1	0	4
合計	24	25	25	74

### 3 ベトナム障がい児支援事業

( 1 ) 事業の概要

今年度はキークワン寺センター1 への支援とマダグイ子どもセンターへの支援を継続して行う。

( 2 ) 実施期間 2013 年 4 月 ~ 2014 年 3 月

( 3 ) 実施場所 ベトナムホーチミン市キークワン寺センター 1 及びベトナムラムドン省マダグイ子どもセンター

( 4 ) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子  
現地スタッフ：Thu Linh

( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数

キークワン寺センター 1 及びマダグイ子供センターで生活する障がいを持つ子供・青年

( 6 ) 予算額 500,000 円

### 4 ベトナム交流事業

( 1 ) 事業の概要

2012 年度に引き続き、学生を主体とした企画・運営により現地との交流を継続する。

( 2 ) 実施期間 渡航日程等は未定。春休みの予定。

( 3 ) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市を予定

( 4 ) 担当者およびスタッフ NVC スタッフおよび新潟大学の学生 10 名程度

( 5 ) 受益対象者の範囲 参加学生および現地の児童

( 6 ) 予算額 0 円 \* 渡航費用は各自負担・必要経費は独自に調達

### 5 愛のかけ橋バザー&フェスタ

( 1 ) 事業の概要

第 25 回 NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタを開催することにより、新潟県内に於ける国際協力の裾野を広げるとともに、各事業資金を調達する。また、第 25 回記念を迎えることにより、よりインパクトがあり、なおかつ来場者が楽しめるようなイベントとする予定。

( 2 ) 実施日 2013 年 10 月 5 日及び 6 日の 2 日間

- ( 3 ) 実施場所 ピア万代 にぎわいマルシェ
- ( 4 ) 担当者およびスタッフの数  
担当者：三上杏里、高山 美結 ボランティア見込み人数：100 人
- ( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数（延べ）：1500 人
- ( 6 ) 支出予算額 100,000 円

## 6 国際協力啓発事業（地球を知る講座）

### ( 1 ) 事業の概要

新潟県在住の人々に、国際・貧困・社会問題などの地球規模の課題を発信し、新潟県内における国際問題の啓発を行うことにより、新潟と世界とがつながり、共に生きることのできる社会作りを目指し、地域社会における人材育成、コミュニティ作りに寄与する。また、国際協力を「富めるものから貧しいものへ」支援するという視点ではなく、新潟と世界が互いに育ちあうことのできるような環境作りを目指す。

### ( 2 ) 実施日 / 期間

- 1.2013 年 5 月保健衛生・教育問題について学ぶ講演会の開催（MDGs 目標：2～5）
- 2.2013 年 7 月水資源について学ぶ映画上映会の開催（SDGs 目標）
- 3.2013 年 9 月食料保全に関するワークショップの開催（SDGs 目標）
- 4.2013 年 11 月ラオスの大型開発と貧困問題に関する講演会の開催（MDGs 目標：7，8）
- 5.2013 年 1 月世界の紛争に関する講演会の開催（MDGs 目標：1，6）
- 6.2013 年 3 月ポスト MDGs への動き。SDGs とは 講演会の開催（SDGs 目標）

### ( 3 ) 実施場所 新潟市市民活動支援センター等

- ( 4 ) 担当者およびスタッフの数 羽田 達矢、高山 美結 他主催者 20 人程度を予定
- ( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数 日本人 90 人 外国人 10 人 合計 100 人 を予定
- ( 6 ) 支出予算額 事業総額費 20 万（助成対象経費 16 万のうち、13 万 7000 円が助成決定）

## 7 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

### ( 1 ) 事業の概要

例年通り、（公財）新潟市国際交流協会と協働で実施する予定。

- ( 2 ) 実施期間 通年（保険料の助成金支払いは年度終了後）
- ( 3 ) 実施場所 新潟市内
- ( 4 ) スタッフ 三上杏里
- ( 5 ) 受益対象者の範囲及び人数 助成見込み件数：現在確認中
- ( 6 ) 予算額 100,000 円

## 8 スタディツアー事業

### (1) 事業の概要

ベトナムの現状やNVCプロジェクトの現場、文化、歴史を知り、現地の人と交流することにより、参加者にNVCの活動を知ってもらい、ベトナムと新潟を繋ぐ架け橋となってもらおう。また、フェアトレードグッズ及びMABCのエコバッグの買いつけなどに携わってもらうことにより、国際協力において一つの使命を果たしてきてもらうという意識を持っていただき、より参加者にNVC活動に対する当事者意識を持ってもらう。

(2) 実施期間 2013年8月24日から8月29日

(3) 実施場所 ベトナムホーチミン市キークワンセンター、マダグイこどもセンター、ホーチミン市学生支援センター(SAC)、MABC(マイ・アム・バー・チュ)などのNVCプロジェクト現場

(4) スタッフ 担当者 : 加藤 健太  
ツアーリーダー : 金子 洋二

(5) 受益対象者の範囲及び人数 最少催行人員10名

(6) 予算額 5,000円(広報チラシ作成費など雑費として事務局の印刷費から捻出予定。また、渡航費現地滞在費などは全て参加者の負担とする)

## 9 その他運営に関する事項

(1) 「かけ橋」発行

(2) 運営委員会の開催

原則として毎月第3土曜日午前10時30分より、新潟市市民活動支援センターにて実施する

(3) 外部イベントへの出展

万代アースフェスタ 2013年5月3~5日 万代シティ

(4) 現地調査

支援先の現況把握と新規事業の調査及びスタディツアー実施に向けて、ベトナムでの現地調査を実施する。(予算20万円)

(5) その他

加入予定団体

日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、  
にいがたNGOネットワーク

助成金 新潟県国際交流協会助成金(地球を知る講座)

## 収入

項目	2013予算額(案)	2012予算	2012決算	決算比較	備考
前年度からの繰越金	2,815,541	2,301,176	2,301,176	514,365	
会費	844,000	800,000	733,000	111,000	
会費(個人)	600,000	600,000	552,000	48,000	50人
会費(学生)	20,000	10,000	6,000	14,000	20人
会費(家族)	60,000	60,000	60,000	0	
会費(団体)	56,000	30,000	43,000	13,000	学生団体含む
会費(賛助(仮))	60,000	0	0	60,000	
会費(過年度)	48,000	100,000	48,000	0	
会費(翌年度)	0	0	24,000	24,000	
事業	1,075,000	250,000	537,931	537,069	
バザー売り上げ	800,000	200,000	337,031	462,969	
イベント売り上げ	100,000	28,000	30,500	69,500	
書籍・カレンダー売り上げ	150,000	17,000	150,000	0	
地球を知る講座参加費等	25,000	5,000	20,400	4,600	
寄付金	300,000	45,000	369,800	69,800	
募金	10,000	6,800	6,730	3,270	
助成金	137,000	117,000	117,000	20,000	県国際交流協会
利息諸収入	1,500	24	349	1,151	ゆうちょ、第四
計	<b>5,183,041</b>	<b>3,520,000</b>	<b>4,065,986</b>	<b>1,117,055</b>	

## 支出(事業費)

項目	2013予算額(案)	2012予算	2012決算	決算比較	備考
自主事業(海外)	750,000	650,000	650,000	100,000	
ベトナム障がい児支援事業	500,000	500,000	500,000	0	
現地代表手当	50,000	50,000	50,000	0	
現地調査費	200,000	100,000	100,000	100,000	フェアトレード調査費含む
自主事業(国内)	200,000	250,000	181,544	18,456	
バザー	100,000	0	122,489	22,489	
書籍・カレンダー	134,000	0	133,820	180	100部購入+送料+振込手数料
地球を知る講座	200,000	250,000	181,544	18,456	
他との協働事業	200,000	200,000	200,290	290	
ラオス(JVC)	100,000	100,000	100,290	290	
留学生健康保険(新潟市)	100,000	100,000	100,000	0	
事業実施諸費	30,000	30,000	37,260	7,260	イベント参加費など
他団体登録費	30,000	38,000	26,630	3,370	
緊急支援	0	0	0	0	
計	<b>1,210,000</b>	<b>1,168,000</b>	<b>1,095,724</b>	<b>114,276</b>	

## 支出(事務局費)

項目	2013予算額(案)	2012予算	2012決算	決算比較	備考
印刷	20,000	20,000	104,910	84,910	
通信費	50,000	50,000	47,011	2,989	
文具	10,000	20,000	2,100	7,900	
事務所費	10,000	60,000	700	9,300	
予備費	600,000	0	0	600,000	
計	<b>690,000</b>	<b>150,000</b>	<b>154,721</b>	<b>535,279</b>	

## 支出(計)

項目	2013予算額(案)	2012予算	2012決算	決算比較	備考
事業費	1,210,000	1,168,000	1,095,724	114,276	
事務局費	690,000	150,000	154,721	535,279	
計	<b>1,900,000</b>	<b>1,318,000</b>	<b>1,250,445</b>	<b>649,555</b>	

収入 - 支出(翌年度への繰越額)      3,283,041      2,202,000      2,815,541

## 2013年度 奨学金特別会計活動予算書

### 収入

項 目	2013予算額	2013現状	差異
前年度からの繰越金	2,806	2,806	0
基金拠出金(内訳下記参照)	700,000	0	700,000
受託金(連合奨学金)	0	0	0
奨学金(大学女性協会)	40,000	0	40,000
ドル換金差額	0	0	0
利息諸収入(利息)	0	0	0
" (ドル換金差額)	0	0	0
計	742,806	2,806	740,000

### 支出

項 目	2013予算額	2013現状	差異
基金拠出分(内訳下記参照)	700,000	0	700,000
奨学金(連合)	0	0	0
奨学金(大学女性協会)	40,000	0	40,000
連合10周年記念調査報告費	0	0	0
予備費(ドル送金手数料)	0	0	0
計	740,000	0	740,000

収入 - 支出(翌年度への繰越金) 2,806 2,806 0

### 基金の状況

項 目	2013年度当初額	拠出金	2013年度末額
NVC 奨学基金	3,255,659	600,000	2,655,659
稲宮奨学基金	260,000	100,000	160,000
計	3,515,659	700,000	2,815,659

## 第5号議案

### 役員の選任について

---

2012年度に選任された役員の任期を2年間としたため、今年度は下記役員が継続して任に当たる。

運営委員	金子 洋二（代表） 三上 杏里（事務局長、副代表） 櫛谷 圭司（副代表） 加藤 健太（副代表） 稲垣伴憲、小出直未、北村 泰、小林伸子、佐々木寛、袖山由美子、 高橋正樹、高山美結、武田彩美、羽田達矢、前谷明日香、山賀緩子、 若月 章、渡邊恭平
監 事	原 敏明、阿部美恵子
アドバイザー	篠田 昭、西村智奈美、山際 敦、山田太郎、前野春樹、面川雅博



## 第6号議案

### 会員制度の見直し及び「賛助会員」の新設について

---

当会の正会員のうち「夫婦及び家族」と「団体」を「団体・家族」という区分に統合することとし、年会費については「夫婦及び家族」の金額(2万円)を適用する。また、活動参加への間口をより広げることを目的として「賛助会員」を新設し、年会費はひと口3千円(個人1口以上、団体3口以上)とする。これにより、当会の会員区分を以下の通りとする。

正会員(個人)	: 12,000円
(団体・家族)	: 20,000円
(学生)	: 1,000円
(学生団体)	: 3,000円
(高校生以下)	: 無料

賛助会員	: ひと口3,000円(個人: 1口以上 団体: 3口以上)
------	--------------------------------